



CHIBA HIGASHI ROTARY CLUB



2008-2009

Weekly Report

会長 曾我 浩
幹事 吉田 宏一

国際ロータリー会長 李 東 建
第2790地区ガバナー 崎山 征雄
第3分区Aガバナー補佐 川島 教昭

第793回

2008.12.15

会長挨拶

曾我 浩 会長



皆さんこんばんは。私の年度は環境問題をテーマとしてきましたが、近頃同じ環境でも経済環境がどうしようもなくなってきました。先日、他のクラブの会員から賃金問題で相談があるということで電話がありました。賃金という私は経営者の味方ですから賃下げの問題かと思ったら、近所の人で会社に勤めているのだが、6ヶ月間給料を貰っていないということで何とかならないかとのことでした。呼んでよく聞いてみたら賃金台帳はない、出勤簿はない、何もなしらしいのです。経営者が居るのであれば取れる可能性はあるのですが、賃金に関してはお金があるところからは取れるが、無いところからは取れない。しかしながらお金が無いからといって開き直すこともできません。何故かと言うと賃金だけは払わないと逮捕されます。ですから皆さんも従業員を抱えている方は給料だけは払ってください。それとおまけにロータリーの会費も払ってください。ということでよろしくお願います。

幹事報告

吉田 宏一 幹事



『新しい時代を開く千葉県民の集い』

2009 年新春賀詞交歓会のご案内が来ております。

日時:1/6(月)11:30～ 場所:京成ホテルミラマーレ 会費:10,000-

参加ご希望の方は12/19(金)までに事務局までお願い致します。

本日付で千葉ロータリークラブより訃報が入りました。

恩田 PP がお亡くなりになりました。

当クラブからは本日 10,000-のご香典をお届けしました。

明日 10:30 より告別式がセレモ千葉寺駅ホールでございます。

池田親睦委員長から来週23日の忘年家族例会につきまして、くれぐれも宜しくお願しますとの伝言がございました。

何としても50名集めたいとのことですので、皆様のご協力を何卒宜しくお願

申し上げます。

武田 康 会員

お口の健康について



命にかかわる歯周病

歯の病気の大部分は、虫歯と歯周病(歯槽膿漏)の二つで占められます。この2つとも、歯や歯と歯肉の間にこびりつく歯垢(プラーク)と呼ばれる物質が原因です。

歯垢には数百種類もの細菌が増殖しています。細菌の出す酸が歯の表面を溶かしてしまうのが虫歯で、細菌の毒素が歯肉に入り込み炎症を起こすのが歯周病です。

虫歯や歯周病はどちらも治療しないしていると歯が抜け落ちたり、抜歯したりしなくてはならなくなります。とくに虫歯と違い歯周病は、最初は痛みが無く進行するので注意が必要です。

近年では、歯周病と全身状態との間に密接な関連があることが解ってきました。

たとえば、歯周病菌が心臓病や肺炎の引き金になったり、歯周病をもつ妊婦さんが低体重出産や早産のケースが増加したりするなど、歯周病が全身疾患に悪影響を及ぼしているという事例やそれに関する疫学的な調査も多く報告されるようになりました。

そのようななかで、糖尿病は歯周病の主要な危

険因子の一つであるとともに、なんと歯周病が糖尿病の危険因子にもなりうるということが解明されつつあります。いくつかの報告を参考にすると、糖尿病患者の9割以上に何らかの歯周病が認められ、その臨床的な症状として、多発性歯周膿瘍や歯槽骨の吸収がみられることが特徴的であります。

歯周病は歯の周囲の歯茎などの組織に、細菌が感染して起こる慢性的な感染症です

歯周病には数々の合併症があります。

ある病気に関連して起こる別の病気のことを「合併症」といいます。例えば糖尿病における網膜症や腎症・神経障害、高血圧における脳卒中、高脂血症における心臓病などがあげられます。最近の研究で、歯周病は心臓病や脳卒中、肺炎、胃潰瘍、肥満症など、さまざまな病気の起こりやすさとの関係があることがわかりました。歯周病の原因菌が血液の中に入りこんで、血管内に炎症を引きおこしたり、全身に影響を及ぼしたりします。

歯周病は生活習慣病です。

その原因となる生活習慣とは、喫煙、精神的ストレス、しっかりとした歯磨きができていない、食べ物の嗜好、歯軋りの癖、口呼吸による口の乾燥などがあります。

生活習慣病は加齢や生活習慣が関係して発病する病気ですから、一度発病すると完治させるのは難しいものです。歯周病もきちんと治療を受け、歯磨きをしっかり続けていけば治せるものの、歯磨きを怠るとすぐにまた炎症がおきてしまいます。ですから歯周病は、一度治療を受けて治ればそれでよい、という病気ではなくて、長期にわたりコントロールし続ける病気です。自分の歯があればこそ、楽しい食事や楽しい会話ができます。また、力強くかむことは脳へ刺激を与え、体全体によい影響を及ぼします。より充実した人生のために、歯が果たす役割は、たいへん大きなものです。

糖尿病と歯周病

血糖値が高いと、感染症にかかりやすく治りにくい

「歯周病は慢性感染症」とは言いましたが血糖値が高くなる糖尿病だと、感染を防ぐ仕組みがよく働かずに、感染症にかかりやすくなります。この為糖尿病の人は歯周病になりやすいことが考えられます。

また、糖分を多く必要とする歯周病菌が増殖しやすい環境になり、歯周病も悪化します。

感染症にかかると、血糖値が高くなる

いったん感染症にかかると、血糖値を下げるホルモンの「インスリン」の働きが妨げられて、血糖値が高くなりやすくなります。したがって慢性感染症である歯周病を放置すると、糖尿病の治療によくない影響を与えます。

糖尿病と歯周病に共通するもの

糖尿病も歯周病も、そのほとんどは生満習慣病として発病します。生活習慣病を起こしやすくする原因には、食習慣や精神的ストレスなど、共通する原因が数多くあります。糖尿病の人に歯周病が多く、歯周病の人に糖尿病が多い原因として、同じような生活習慣の関係もあると考えられます。

糖尿病には三大合併症のほかに動脈硬化やそれによる心臓病、脳卒中などがあり、歯周病も、それらの合併症との関係を見逃すことが解ってきました。

今日、糖尿病の治療は「合併症の予防と進行を防止する」ことを目的に行われています。したがって、「合併症予防のために歯周病をしっかり治療する」ということが肝要であります。

糖尿病と歯周病は、自己管理が大切

糖尿病も歯周病も、自身の努力が必要です。糖尿病の治療には、しっかりとした食事療法・運動療

法が必要ですし、歯周病の治療には的確な歯磨きが絶対必要です。

ある程度進行した歯周病は、治療のプロである歯科医師に処置してもらわなければ治りません。しかし、同時に患者さん本人が毎日しっかり歯をみがかないことには治療できません。患者さんが日ごろから健康的な生活を心がけて、歯を守るための自己管理を続けることがとても大切です。

ニコニコBOX

12月15日 第793回例会

曾我会員 武田会員卓話ありがとうございました。

高柳会員 武田会員卓話ありがとうございました。

神田会員 来週の忘年例会楽しみにしています。

飯田会員 武田会員ためになるお話ありがとうございました。

吉田会員 武田会員 卓話ありがとうございました。また是非聞きたいです。

合計 24,000円

累計 ¥516,698円